

マネーフォワードと資本業務提携を締結

静岡銀行（頭取 中西勝則）は、第12次中期経営計画基本戦略の一つ「新たな事業領域、収益機会への挑戦」の一環として、平成27年8月21日付で、株式会社マネーフォワード（代表取締役 CEO 辻 庸介、以下マネーフォワード社）と資本業務提携を締結し、マネーフォワード社が募集する第三者割当増資を引き受けることに合意しましたので、お知らせします。

これにより、静岡銀行は、マネーフォワード社が実施する総額約10億円の第三者割当による資金調達
の引受先の1社として出資を行います。

1. 業務提携の内容(当面の計画)

(1) 中小企業・個人事業主を対象とした新たな Fintech サービスの実現

○静岡銀行が提供している個人事業主向けのクイックローンや、マネーフォワード社が提供する中小企業・個人事業主向け経営支援クラウドサービス（MFクラウドサービス）など、両社が提供しているサービスに対して、互いの保有する技術・アイデアを積極的に取り入れることで、より利便性の高い融資モデルを構築します。

(2) 個人お取引先向けPFMサービスの共同開発

○マネーフォワード社が提供する、自動家計簿・資産管理サービスに、静岡銀行グループのもつノウハウを付加し、相続、資産運用等の幅広い領域をカバーする、個人向け資産管理サービスの提供を目指します。

2. 資本業務提携の背景・目的

(1) 静岡銀行では、第12次中期経営計画の基本戦略の一つとして「新たな事業領域、収益機会への挑戦」を掲げ、異業種との提携を通じて、従来の枠組みや発想にとらわれないビジネスを創造し、新しいマーケットの開拓を経営課題としています。

(2) マネーフォワード社は、人々のお金に対する悩みや不安に応える「お金のプラットフォーム」を目指しており、インターネット上で、自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」、中小企業・個人事業主向けのクラウドサービス「MFクラウド」などを提供しています。

今回の資本業務提携により、静岡銀行ではマネーフォワード社の保有する先進的なインターネットサービスを取り入れ、異業種間での提携であるからこそ期待できる、従来にはない発想と創意によって、Fintech 事業領域における新たなサービスの開発を目指します。

【ご参考】株式会社マネーフォワードについて

2012年5月に設立されたFintechベンチャー企業
 家計・資産管理サービスや、ビジネス向けクラウドサービスなど、「お金のプラットフォーム」を開
 発・提供しており、Fintechベンチャー企業としてユーザー数、知名度ともにトップクラス

所在地	東京都港区芝5-33-1 森永プラザビル本館17階
代表者	代表取締役CEO 辻 庸介
資本金	2,230百万円（資本準備金を含む）
事業内容	インターネットサービス開発 （PFM事業ならびにクラウドサービス事業）
会社沿革	2012年5月 設立 同 12月 自動家計簿・資産管理アプリ 「マネーフォワード」リリース 利用者数は220万人を突破 2014年1月 クラウド会計正式版リリース 「MFクラウドシリーズ」は延べ40万ユーザーが利用
主な受賞履歴	2014年1月 ケネディ駐日米大使より 「将来を担う起業家」として米国大使館賞 同 2月 ジャパンベンチャーアワード2014において 「起業を目指す者の模範」としてJVA審査委員長賞 同 3月 金融イノベーションカンファレンスFIBC2014 において大賞 同 12月 NTTデータ主催ビジネスコンテスト「豊洲の港から」 で最優秀賞受賞